

若竹



第 6 8 号

2015 / 1 1 / 5 発行

若竹第二号刊行です！前回と比べれば、まあますますの早さで発行できたように思います。これからも頑張っていくので、応援、ご協力のほどよろしくお願いします！

さて、今回は『白陵祭』号です！二学期最初に行われた『文化祭』、『運動会』。皆さんはどうでしたか？演技を頑張った人、競技を頑張った人、おつかれさまでした！僕は…まあ、いろいろあったんです。そんなもんです、この世の中。さて、次の大きなイベントは、冬休みを挟んで、百人一首大会です！実はこの百人一首大会、中学部生徒委員会中心で行うイベントなんです！一同で気合を入れて取り組むので、ぜひぜひ期待しててくださいね！

さあ、新任の先生紹介です！どのようなお話になるのやら…？

初心を忘れず 中学2年5組副担任 細川 晋作



今年度、赴任された細川先生。爽やかな笑顔がとても素敵な先生です。奈良の大学で柔道に取り組まれたそうです。中2、中3の4、5組、高1の1、2組、高2の4、5組、高3の4、5組、と柔道、体育を問わず多くの授業を持っていられっしゃいますが、授業で大切にしていることとは、“笑顔” だそうです。

中学2年5組副担任の細川晋作です。

白陵に勤めてから早くも1学期が終わり、2学期が始まりました。少しずつですが、白陵という学校についてわかってきたかなと思います。それとともに教員生活にも慣れてきました。が、この「慣れ」は怖いもので、「慣れ」からの「気のゆるみ」が時には大きな失敗を招きます。特に私の授業は、保健体育、または柔道ということで、授業は常に怪我と隣合わせだという気持ちを忘れずに取り組まなければなりません。

ある有名な柔道家は、昔、サインを書くときに「初心」という言葉を横に書き加

えていました。何げない言葉ですが、私はこの「初心」という言葉を大切にしています。なぜかという、「初心」と「気のゆるみ」には関係があるからです。普通の人間であれば、何を始めるにも最初は緊張感を持って物事に取り組みますが、毎日同じことの繰り返しの中で自然に「慣れ」が出てきて最初に合った緊張感は次第になくなって行き、それが「気のゆるみ」となって行動に出てしまったりすることがあります。

挨拶や返事にしてもそうです。基本的なことですが、それが社会人となった今、どれほど大切なことなのかがよくわかります。「挨拶や返事が小さい」と言われ、元気に挨拶できるのが三日間、一週間では意味がありません。意識して毎日続けるからこそ意味があります。勉強やスポーツにしても、結果はなかなか出ませんが、毎日コツコツと努力をしている人が最後には笑うことができると、私は確信しています。

私の先輩には、野村忠弘という人がいます。私は、大学生のころに先輩が努力している姿を間近で見てきて、その姿に刺激を受け大学生活を送ってきました。刺激を感じて行動に移せる人と、そうでない人には、半年後には大きな差が生まれます。行動に移せるか移せないかは自分次第ですが、私は少しでも生徒に刺激を与えられるような教員を目指して、精進していきたいと思います。

文化祭

MVP 生物部

中学最後の文化祭

岡 郁己

今年の文化祭は、去年や一昨年と比べて、とても充実したものだった。今年もMVPをとれたのもその理由の一つだが、一番大きな理由としては、中学生で最後の文化祭だったことがあげられるだろう。

中学最後の文化祭。これは僕にとってたくさんの意味を持っている。来年からは展示においての中心となれるといううれしさと、逆にうまくやっていけるのかという不安が入りまじっている。ただ、それでも嬉しさのほうが大きいことは事実だ。

文化祭は僕たち文化部ないし文化部員の実力や成果を発揮できる一番大きな行事であると僕は思っている。そして何より、その文化祭で、今の自分のできる限りのことができてよかった。



CM大賞 放送部



CM万歳

高橋 光

こんにちは！こちら放送部です。今年の文化祭ではなんとCM大賞をもらうことができました！選んでくださった校長先生、本当にありがとうございました！あのCMはみなさん知ってる通り au の真似なんですけど、よりリアルなものにするために須磨の海岸で一般の人がたくさんいる中で撮影しました。顔を白くぬって、手作りの超かっこ悪い衣装を着ていたのでめっちゃジロジロ見られました…。中には写真を撮ってもいいですか？と笑いながら聞いてくるお姉さんまでいたのですー！！そんなとっても恥ずかしい思いをしながら、先輩の力を借りて、一生懸命作った作品だったので賞をいただけて本当にうれしいです！ありがとうございました！



中学一年 初めての文化祭＋学年演技

文化祭を終えて 白陵中学校一年 東田 初花

白陵中学校に入学してから、私が一番楽しみにしていた行事は文化祭です。小学生のころとは違って、私たちが自分で考え相談しながら作り上げていくと聞いていたので、私もどこかに参加したいと思っていました。『何に参加しようかなあ、何ができるだろう。』と考えていた時、有志という形で楽器演奏やダンスなどを披露できると知りました。

白陵中学校に合格した時、お祝いに念願のピアノが手に入ったので、時間が有ればお気に入りの曲を弾いて楽しんでいました。ただの趣味で、ピアノを正式に習ったことはない私でもピアノ演奏に有志で参加させてもらえました。本番は緊張より

も大好きな人たちに聴いてもらえる喜びが大きく、自分なりに精いっぱい演奏ができたと思います。

文化祭を見て回って、部活の先輩方が力を合わせて創ったダンスや展示物に、いつもと違う一面を発見し、驚きや楽しみが一杯ありました。私も一年一年成長し、先輩方のように輝きたい、今年のテーマである『Go Beyond』のように今の私を超えて行きたいと思いました。

今から来年の文化祭が楽しみです。来年の私は今の私を思い出して、成長したなと感じられるよう日々努力していきたいと思います。



心を一つに・・・

せーの！

文化祭



中二学年演技



オス！頑張ったぞ！

中学二年生は、“空手”で文化祭、運動会ともに頑張っていました！運動会のほうに感想を載せています。

中三学年演技

『学年演技を終えて』 3年 2組 加藤 大樹

まずは、完成できたということが一番うれしかったです。誰もどうやって劇を作っていたらいいのかわからない中で始まったのでほとんど予定通りに進んだことはなかったと思います。僕も今まで何かのリーダーになったことはなくて初めはみんなを引っ張っていくことができなかったのも、「この劇、本当に完成するのか」という状態だったけど、スタッフの人たちがこうしたほうがいいとか色々言ってくれたおかげで最後はいい劇になったと思います。見に来てくれたお客さんが笑ったり声援を送ってきてくれたことも、劇が盛り上がった要因だと思いました。最後に劇を作るのに携わったスタッフ、役者、先生、先輩や見に来てくれたお客さんは本当にありがとうございました。



はい！チーズ！大成功！！

もう帰りますよ！時間
がないんです！

もうちょっ
とだけ～



でも...

運動会

優勝 J 団 (中3-5、中2-5、中1-5)

J 団団長 柳 賢太

まず J 団優勝おめでとおおー！！！！入場行進ではみんなが頑張ってくれて、そして先生方も非常に熱心に指導してくださったおかげで、予行では最下位と言われていたけど一位になることができました。他の競技やデコも無難に終わることが出来て良かったです！僕についてきてくれてありがとう！最初からずっと緊張していて、うまく指示が出せなかったり場を盛り上げることが出来なかった団長だったんですが、団長をやっていて良かったです！そして先生方も本当にありがとうございました。J 団サイコーーーーーー！！！！



二位 G 団(中3-2、中2-2、中1-2)

G 団団長 浅野 稔崇

2位でした...。

くやしいですね～。2位ですよ～。

くやしいですね？2位ですよ。

くやしいですね！2位ですよ！！

ふざけるのはこれ位にして...。

今回、団長という大役をやらせていただきましたが、不満や不服や不平があったと思います。その辺はどうもすみませんでした。

競技を頑張ってくださった G 団の方々おつかれさまでした。競技2位でしたが、よかったと思います。と、書きたいのですが2位ですよよくないでしょ！失礼ですけど(本当に)あの J 団に負けるなんて本当にくやしいです。

最後に一つだけ、この感想書かすの、せめて100字程度にしてください。400字はきついっす。ホントに最後に G 団の皆さんや先生方ありがとうございました。(もう団長はいやだ。)



三位 I 団(中3-4、中2-4、中1-4)

I 団団長 野瀬賢斗

どーも3位になったI 団の団長の野瀬です。えーと、良くも悪くもない3位というピミョーな順位でしたが、楽しい運動会になってよかったです！



中一学年演技

中1 J団旗手 高野 陸斗

運動会の出来事

この運動会で、僕は旗手をしていました。先生や先輩におしえてもらいながら、練習していました。運動会本番、ひたすら先輩に合わせていました。少し、腕が疲れたけど、無事に、次に進む事が出来ました。

僕が出動したのは、『くーる棒』『学級対抗リレー』『棒倒し』です。くーる棒は、僕は、一番外側なので、一番速く走らないといけないので、疲れたけど、自分の全力を出せました。学級対抗リレーは、緊張して足がふるえていて、案の定、最下位でしたけど、みんなが、巻き返してくれて1位になりました、僕は、少しブルーになったけど、みんながまき返してくれて、おちつきました。棒倒しでは、練習のときは、ずっと勝っていたので、練習通り、敵にしがみついて、先輩でも、なんでもしがみついたり、棒や人を押したり棒を支えたりしていこうと思ったけど、すぐ棒を倒され、1回戦で負けてしまい、くやしかったです。

合計点は、中間1位で、2位に1団が追いかけてきて、デコレーションで勝たないと負けるというきわきわの戦いでしたが、みごと勝ち、優勝しました。トロフィー3つ(3学年を合わせて)と賞状を5枚(一年五組)をもらうことが出来ました。最後にみんなで写真をとりました。

いい思い出になりました。



中二学年演技

中2学年演技代表 白川 裕貴

今年の運動会で、中学二年生は学年演技で「空手」をしました。学年全員で挑戦するのはとても大変で、なかなかまとまらず、本番まで間に合うのかとても不安でした。

しかし、楠本君のしっかりした指揮や、みんなが一生懸命練習に取り組んでくれたおかげで、無事に成功して終わることができました！！

今回の学年演技で、また学年演技で、またE団全員が一致団結したように思います！！

運動会サイコーー！！



中三学年演技

中3学年演技代表 名生 彩美

学年演技を終えて

今年の中学三年生の学年演技は、組体操に挑戦しました。今年は今までの二年間とは違い、実行委員が一から創るということに大きな期待と少しの不安を感じていました。初めは意見がかみ合わず、前に進めないことに焦りを感じる時もありました。嫌気がさして、投げ出したくなったこともあったけれど、やめなくて本当に良かったと思っています。

緊張の走る中、始まった学年演技。周りからの声援もあり、フィナーレまでしっかり完成させることができました。完成時の安心と喜びは今でも鮮明に思い出されます。

保護者の皆様、生徒の皆さん。暖かい応援をありがとうございました。協力して

くださった先生方。最後まで見守ってくださったことに感謝しています。これからさらにこの五十四期生が活躍するよう、努力していこうと思っています



運動会MVP（生徒会選抜）

行徳 冠生

ども。G団の行徳です。ノルウェーリレーで、差があったにしても抜けなくてごめんなさい。まあ、僕は中学生としてもう一年チャンスがあるので、次は団長？になってみんなを引っ張ってみたいです。今年はフツの行徳しか見せることができなかったの、来年は強い行徳になって戻ってくるので期待してください！！負けちゃったけど本当に楽しい運動会でした。G団のみなさんありがとうございました。来年は優勝するぞ！！では、また来年。

お詫び

前号(第67号)において以下の誤植が見つかりました。

Pg.3・中1・3日目 ×臨界→○臨海

×ホトコースト→○ホロコースト

Pg.5・中2・2日目スタutz

×浜橋丈くん→○大西千尋さん

誠に申し訳ございませんでした。謹んでお詫び申し上げ、再発防止に努めます。

コラム

～運動会～

コラム第2回目の今回は、今回のテーマの一つである“運動会”です！

前でも書いたように、例年通りの盛り上がりを見せた“白陵祭”。でも他の学校は？海外では？また違うものなのでしょうか…

運動会の起源とは、ヨーロッパにあるとされています。しかし、欧米では体育及びスポーツの分化により、一方では特定種目の競技会やそれを複合させたスポーツ競技会、一方で子供による伝統的な遊戯、まつりやピクニック会などへとつながって今日に至っています。そのため、日本の運動会のように参加者が一定のプログラムについて順次全体としてまとまりながら競技・演技を行う形式の体育的行事は「近代日本独特の体育的行事」といわれています。日本で最初に行われた運動会は1868年に幕府の横須賀製鉄所において技術者・職工らによって行われたものが最初であるとする説があります。その後、初代文部大臣・森有礼が体育の集団訓練を薦めるため学校で運動会を行うようになりました。ちなみに、日本統治を経験した韓国、北朝鮮、台湾や中国東北部の学校にも日本時代の名残で運動会が存在しています。第二次世界大戦中は運動会の種目においても戦時色が強まり、騎馬戦・野試合・分列行進などが行われたようですが、戦争末期には食糧難から運動場が農地化するなどして実施が不可能となった例も多いようです。こんなところにも戦争が関係しているわけです。ところで、運動会といえば、まず最初に行うのは“入場行進”。この学校でも“かしら右”をしますよね。しかし、この“かしら右”、どこからきたものだと思いますか？これには意外なあの人物もかかわっているのです。……答えは第二次世界大戦で枢軸国ドイツのリーダーだった“アドルフ・ヒトラー”率いるナチスによる敬礼だといわれています。このナチス式敬礼が日本軍に入ってきて、「かしら右」の後ドイツ式敬礼を貴賓席に向けてやる、という日本の慣習とごちゃ混ぜになったようです。ちなみに、ドイツでは片手を挙げる「ドイツ式敬礼」を行うと逮捕されます。日本人は名前を呼ばれると片手を挙げる癖があるので、よく間違われるそうです。渡独の際は気を付けてくださいね！

さーて、来月の若竹は？

来月は中学部生徒委員会特集号です！知られざる中学部生徒委員会の実態が明らかに…。表紙の新任の先生は、駒井先生です。聞くところによると大学時代にいろいろな経験をされたようで…。来月の若竹を見逃すな！次回発行は冬季補習中を予定しています！

次回もお楽しみに！

(一部要望のあった感想の件については、今まで通りとします。ご協力お願いします！)